

## 日本刀について

海外の方にも日本は侍の国、そしてその侍が腰に差している日本刀は広く知れ渡っている事と思います。

その日本刀が出現したのが平安時代中期（約1000年前）です。

それまでの武器は反りのない直刀でした。その直刀に反りがつき日本刀が誕生しました。

日本刀と聞くと皆様は侍が腰に差している二本の武器を想像されると思います。日本刀には用途によって色々な種類があります。馬上で使う事を目的とした反りの強い姿が特徴的な**太刀**。【刃渡り60センチ～】。侍が腰に差している長いほうが**刀**。陸上で両手で使い太刀に比べると反りが無く突く事も斬る事も出来ます。【刃渡り60センチ～】。侍が腰に差している短い方が**脇差**。陸上で片手で使います。【刃渡り30～60センチ】。刺す事が目的の**短刀**。【刃渡り30センチ未満】などがあります。

日本刀には裏表があります。腰に装着した状態で相手に見える側が表となります。

太刀は刃を下にした状態で腰に装着します。刀、脇差、短刀は刃を上にした状態で装着します。太刀とそれ以外では裏表が反対になります。

太刀の表側



刀の表側



日本刀は表側を向けて先を右側にして飾ります。理由は、相手に敵意が無いことを示すためです。もし左側に先があると右手で日本刀をつかむとすぐに戦える状態になるからです。同じ理由で、畳の上に座るとき日本刀は必ず利き腕である右手側に置きます。

日本刀とは、折れず曲がらず良く斬れるという武器の部分と、鉄自体を芸術の域に高めた美術品としての部分、そして日本人の精神美の部分とがあります。平和な時代は鉄の美しさを鑑賞し、侍の魂としてその精神美の象徴であり、いざ戦になると腰の一刀に命をかける、それが私たち刀鍛冶の造る真の日本刀です。

刀身を製作する刀鍛冶、日本刀を研磨する研ぎ師（とぎし）、鞘を製作する鞘師（さやし）等、その道の職人の分業制により日本刀は完成します。現在 刀鍛冶になるには、まず親方となる刀鍛冶のもとへ弟子入りを行います。そこで、修行期間が5年以上になると文化庁の試験を受ける事が出来ます。一般的に修業期間は5～10年ほどで、給料は一切ありません。昔ながらの徒弟制度が今でも残っています。文化庁の試験は年に1度6月に行われ、実技のみの内容で、昨年は12人受験して合格者は4人の狭き門です。

この文化庁の試験に合格すると、やっと晴れて日本刀の製作が出来るようになります。文化庁からは、刀鍛冶一

人当たり1年間に24振り（振り＝日本刀の単位）の日本刀の製作が許可されます。

武器としての無駄のない凛(りん)とした姿、極限まで鍛え上げられ美術品にまで高められた鉄の美しさ。折れず、曲がらず、良く斬れ、そして美しい、それが目に見える日本刀です。

日本刀をご注文になる方の大半は、日本刀に決意、特別な意味、想いを込められます。これが目に見えない、精神的な日本刀です。その想いは、子供や孫の誕生、人生の節目、何かの決意、お守り、儀式、神事など日本刀を注文される方により様々です。日本刀には、日本古来から続く大切な精神美が打ち込まれています。

日本刀には、製作した刀鍛冶がいて、注文者がいて、製作するには理由や想いがあって、その日本刀を大切に受け継ぐ人がいて、そして歴史が生まれていくのです。

日本刀が1000年もの間 日本人の心を掴んで離さないのは、日本刀が武器だから、美術品だからという目に見える部分だけではなく、目に見えない言葉には出来ない精神的な美しさが備わっているからだと思います。

日本刀の歴史1000年の中で、偶然にも同じ時代に生まれた縁に感謝しております。

2013年5月14日  
備前長船日本刀伝習所

## 備前長船日本刀伝習所

備前長船日本刀伝習所では、日本刀の文化・伝統を広める活動をしております。博物館や美術館に行けば日本刀をガラス越しに見ることは出来ます。本を開けば、インターネットを覗けば、日本刀に関する多くの情報を簡単に得る事が出来ます。ただ、実際に日本刀の製作を見て、鉄を打つ音を聞いて、その迫力を肌で感じる事はことはなかなか出来ません。そこで平成16年無料で日本刀の製作を見学できる場所を作りました。

刀鍛冶って何をしているんだろう？

刀鍛冶ってどんな人達？

日本刀ってどうやって作られるの？

日本刀の製作を見学してもらい、私達刀鍛冶と触れ合い、日本刀の文化や伝統、精神美を直に感じてください。次の世代に日本刀の文化・伝統を伝えていくのも、私達刀鍛冶の大きな使命だと思います。

毎週土、日曜日9～16時の間 仕事場を無料公開しております。お気軽に遊びに来てください。

予約方法など詳細は、ホームページにてご確認ください。

ホームページ <http://www.osahune.com>

備前長船日本刀伝習所

検索